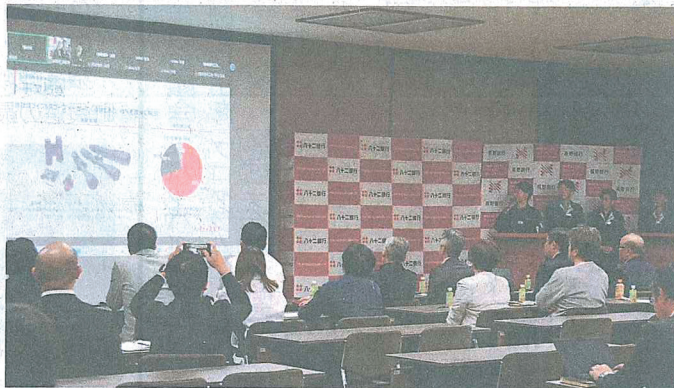


八十二銀・長野銀が事業創出支援 新製品・サービス 4社が報告

地銀1行時代

八十二銀行(長野市)と長野銀行(松本市)による新規事業創出の支援プログラムに参加した県内4社の成果報告会が6日、八十二銀行本店であった。スタートアップ(新



参加企業がそれぞれの事業について発表した成果報告会

興企業)と協業した新製品や新サービスの開発について、9カ月間の成果をそれぞれ発表した。

ライト光機製作所(諏訪市)は、有機ELディスプレイ関連開発のソナー(山形県米沢市)と協業。狩猟や射撃競技用の銃に付けるライフルスコープ

内部に、特殊形状の表示パネルを組み込んだ製品を試作した。周辺の風速や風向といった情報を標的の周囲に表示できる。2026年の量産を目指すとした。

めつき加工の塚田理研工業(駒ヶ根市)は、プロダクトデザインを手がける小鳥来(東京)と連携。ハンディファン(小型携帯扇風機)をめつき加工し、抗菌性能などを備えた高機能製品を作った。

都筑製作所(埴科郡坂城町)は、ミニトマトの収穫ロボット開発に関し、台車の製造でQBIT Robotics(東京)と協業した。給食受託サービスなどのミールケア(長野市)は、iDEAKI(東京)の協力で、給食を受託している全国の保育園・幼稚園の保護者に依頼する新たなマーケティング調査の仕組みを検討した。